

試験器

極性試験器

(ポーラチェッカー)



KS-1D

変成器の1次側と2次側の極性確認(極性試験)を行うための試験器です。基本原理はキック法によります。変成器の1次側に直流電源OFF→ONが入力されたときの変成器の2次側出力によりメーターを振らせ、振れの正負により極性を判定します。

保護継電器の変成器一次側から継電器端子まで極性の誤り無く結線されているか確認する場合、保護継電器とPT、CTを接続した状態で本試験器を並列に接続して試験することができます。その他、Δ型故障選択装置の変成器など、各種変成器の極性試験に使用できます。

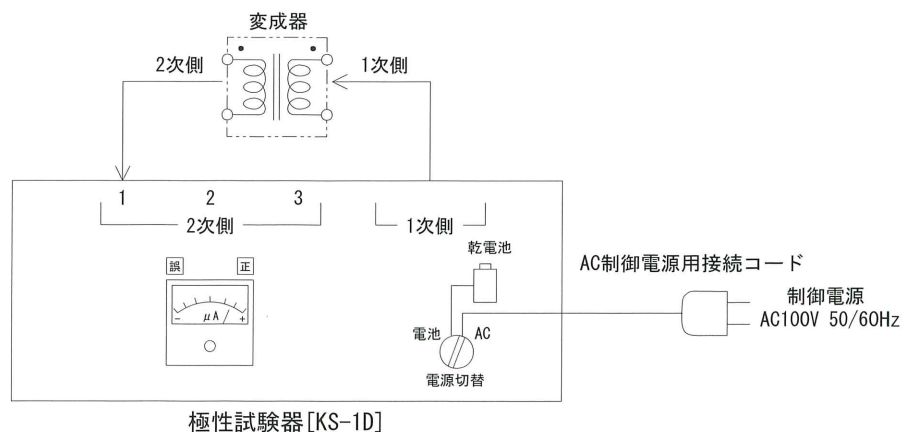
型式

KS-1D

使用方法

- ・ 本試験器の「試験」スイッチを押して変成器の1次側へ直流電源OFF→ONを出力し、変成器の2次側からの入力によりメーターを振らせます。
 メーターの指針が「正」に振れば極性が合っている、「誤」に振れば極性は逆になっていると判断できます。
 指針の振れが小さい場合は「感度変更」スイッチを右へ回すと振れが大きくなります。
- ・ 本試験器の「2次側」は1～3を「入力選択」スイッチで切り替えます。
 多元継電器(44、64、84など)の配線チェックの際、チェック対象の3回路と接続しておいて「入力選択」スイッチで切り替えて試験することができます。

構成図例



試験器

極性試験器

(ポーラチェッカー)

製品仕様

基本性能	<p>以下の極性試験が可能</p> <p>(1) 保護継電器を接続した状態での 3kV~220kVの計器用変成器の極性試験 (PT回路)</p> <p>(2) 保護継電器を接続した状態での 50A~1000Aの変流器の極性試験 (CT回路)</p> <p>(3) ΔI型故障選択装置の変成器に導体を一回巻いた状態での 継電器を含めた極性試験 (ΔIリレー用CT回路)</p> <p>(4) その他変成器類の単体試験</p>
制御電源	AC100V 50/60Hz または DC 6V(単1乾電池4本・実装済み)
スイッチの操作	<p>(1) 電源切替: AC100V~電源断~DC6Vの3段階切替</p> <p>(2) 入力選択: 3回路切替</p> <p>(3) 感度切替・電源チェック: 電流計の感度5段階と電池電圧チェックの切替</p> <p>(4) 試験: 試験開始押しボタン</p>
質量	約6.3kg

試験器

寸法図(KS-1D型)

